


うつくしい人は墮落を選んだ——。

# ジョルジュ・バタイユ ママン

Philippe Bracon et Bernard-Henri Lévy présentent / une coproduction Gemini Films (France) / Les Films du Camélia (France) / Les Films du Lendemain (France) / Arte France Cinéma (France) / S2 International Audiences Consulting (Espagne) / Arcaea Film Produktion (Autriche) ISABELLE HUPPERT / LOUIS GARREL / EMMA DE CAUNES / JOANA PRESSDOMINIQUE REYMOND / JEAN-BAPTISTE MONTAGNY / OLIVIER BARBOURIN / PHILIPPE DUCLOS, MA MÈRE / d'après le roman de GEORGES BATAILLE - PLAGIAT © 1977 / Editions Fayard / un film de CHRISTOPHE HONORÉ

主演:イザベル・ユベール「ピアニスト」/ルイ・ガレル「ドリーマーズ」 監督:クリストフ・オノレ「NOVO/ノボ」(共同脚本)

2004年/フランス/カラー/110分/DOLBY SRD/1:85 ビスタサイズ ©Gemini Films Arte France Cinéma Les Films du Camélia Les Films du Lendemain Natan Productions 原題:ma mère 配給:アット エンタテインメント 宣伝:アット エンタテインメント+アンカー-プロモーション [www.at-e.co.jp/maman](http://www.at-e.co.jp/maman) 



# 20世紀を代表する思想家 ジョルジュ・バタイユが遺した 美しくも残酷な衝撃作

生きる意味を身体で感じたい。感情を抑えて過  
ごすうち、自分の欲望にさえ鈍くなってしまふの  
なら。ふしだらであつてもいい、剥き出しのまま  
それが、真の輝きだと思っからー。

美術、文学、政治—エロティシズム。本国フランス  
はもちろん、日本においても作家の三島由紀夫、  
芸術家の岡本太郎など、時代の先駆者たちに多大  
な影響を与えた、20世紀最大の思想家ジョルジュ・  
バタイユの遺作となつた「聖なる神」を完全映像化。  
〈エロス〉は〈死の意識〉と結びつき、タブーを犯すこ  
とから生まれるという鬼才の根底をなす重要な  
要素が、母と子の関係を軸にスキャンタラスに、  
スリリングに展開していく。

この究極の愛の物語に挑んだのは、前作の『*Les  
fois Cécile Cassard*』が長編デビュー作にも関わ  
らず、同年のカンヌ国際映画祭「ある視点」部門で  
上映され注目を集めた、フランス映画界の新鋭クリ  
ストフ・オノレ。

主演は『ピアニスト』『8人の女たち』のイザベル  
ユペール。カンヌ国際映画祭で2度の最優秀女優賞  
に輝く卓越した演技力で、刹那に生きる母親ヘレン  
の痛々しさを見事に表現している。

息子・ピエールに扮するのは『ドリーマーズ』のルイ  
ガレル。物憂げな眼差しから漂う端正な美しさと、  
格調高い演技力を備えた若手実力派である。

またフランスを代表するトップブランド、クリス  
チャン・ディオール、パレンシアガの衣装や、60年代の  
ヒット曲「ツッピー・トゥギャザー」、名曲「愛の讃歌」  
などの楽曲により、主人公たちの表面的な美しさ  
を華やかに演出することで、彼らが墮ちていく闇  
の深さをより際立たせ、寓話のように甘美で毒の  
ある世界が完成。ここにバタイユが遺した、美しくも  
残酷な衝撃作が鮮烈によみがえった。

introduction

director & cast

other

誘惑の光は、暴力に満ちた行為を開始するたびに神聖な生を照らし出し、  
死が犠牲者の首元を切り裂き生を終わりにするその瞬間に輝くのだ。

「エロスの涙」ジョルジュ・バタイユ

*W Bataille*



story

最愛のマンが、  
僕を絶望と破壊へ  
突き落とす！。

崇拜する美しいマンに会う  
ため、ピエールはスペイン、  
カナリア諸島を訪れる。  
自堕落な父親に対する煩わ  
しさから解放され、マンと  
二人きり、平穏な暮らしへの  
訪れに胸を振るわせながら。  
しかし、喜びは打ち砕かれ、  
不安と恐怖に支配される。  
青い海、煌めく太陽の下、  
マンが徐々に本性を露に  
しはじめたのだ。17歳の少年  
が知る、不道徳で魅惑的な  
マン。そして、残酷で暴力  
的な愛の姿とは。



出演：イザベル・ユペール「ピアニスト」/「8人の女たち」/ルイ・ガレル「ドリーマーズ」/エマ・ドゥ・コース「The Science of Sleep」(06)/ジョアンナ・ブレイス 監督：クリストフ・オノレ「NOVO/ノボ」(共同脚本) 製作：パウロ・ブランコ「クレヴの奥方」「家宝」 撮影：エレヌ・ルバル「マルタ…、マルタ」  
2004年/フランス/カラー/110分/DOLBY SRD/1.85 ビスタサイズ ©Géminis Films Arte France Cinéma Les Films du Camélia Les Films du Loupemain Natan Productions 原題：ma mère 原作：『聖なる神』三部作「わが母」刊/二見書房 配給：アット エンタテインメント 宣伝：アット エンタテインメント/アンカー・プロモーション www.at-e.co.jp/maman

7/1  
~7/14

テアトルタイムズスクエア

新宿南口 タカシマヤタイムズスクエア12F  
TEL:03-5361-1937 www.cinemabox.com

連日21:10より〈定員制〉

7/15  
~8/11

銀座テアトルシネマ

有楽町線銀座一丁目駅7番出口 銀座線京橋駅2番出口  
TEL:03-3535-6000 www.cinemabox.com

連日21:20より〈定員制〉

美しくも残酷にレイトロードショー

特別鑑賞券¥1500 絶賛発売中 ◎劇場窓口にてお買い求めの方に、オリジナル・ポストカード プレゼント